

## 第28回夏季大学実施報告

### 猛暑の中で開催

1994年8月1～3日の3日間、猛暑の中を、気象庁講堂で第28回夏季大学が108名の参加者をもって開催された。開催中に東京が観測史上最高の気温39.1°Cを記録し、暑さと戦いながらの夏季大学であった。

### テーマと講義一覧

今回のテーマは「局地風」で、講義の題目と講師は以下の通りである。

- 8月1日：「局地風概論（荒川正一氏）」  
 「海陸風（吉門洋氏）」  
 「ヤマセ（川村宏氏）」
- 8月2日：「山越え気流と局地強風（斎藤和雄氏）」  
 「竜巻とダウンバースト（新野宏氏）」  
 「ヒートアイランドと局地風（高橋俊二氏）」
- 8月3日：「天気予報の作り方（村松照男氏）」

### アンケート結果

恒例のアンケートには81名(75%)の協力が得られた。以下に概略を紹介する。

- 年齢 ①10代3, ②20代21, ③30代25, ④40代20,  
 ⑤50才以上11 (最高69才)
- 職業等 ①教職員22, ②学生11, ③気象関連業務9,  
 ④その他39
- 参加の目的 ①教材研究22, ②業務上の参考23, ③教  
 養または趣味39, ④気象予報士試験の準  
 備13, ⑤その他6
- 参加回数 ①初めて41, ②2回目15, ③3回目9,  
 ④4回以上15 (最高25回)
- 開講を何で知ったか ①「天気」28, ②「気象」22,  
 ③「地学教育」2, ④ダイレク  
 トメール24, ⑤その他13
- 受講料 ①高い10, ②適当59, ③安い8
- 開催時期 ①7月下旬14, ②8月上旬58, ③8月中旬  
 9, ④8月下旬5, ⑤その他10

意見や感想として出されたものの中で、注目されるものをあげると、

- ①質問を文書で集めて、翌日に回答というのはどうか。  
 ②レベル別を選択制にできないか。  
 ③OHPが見づらい。ノートが取れる程度の明るさがほしい。(これは毎回指摘される)  
 ④世話人の方々は大変親切であった。(嬉しい限り)  
 ⑤気象を研究している人にロマンを感じる。(これも嬉しい)

今回は、気象予報士試験を控えていたのだが、それが目的で受講した人は13名と意外と少なく、教養趣味でと言う人が39名と相変わらず多いのが注目される。やはり気象にロマンを感じて受講する人が多いということかもしれない。

職業を「その他」欄に記入した人の内15名は航空関連、農協職員、マスコミ、環境アセスメント職員、自治体職員、雪氷コンサルタント、登山等、何らかの意味で業務に関連して受講した人達である。気象学が多様な職業と結び付きを深めていることをうかがわせる。

講義に対する反応は、程度、内容ともに概して好評であったが、一部に難しかったという感想もあった。これはどちらかといえば数式が多かった講義で、この点は講師との事前の打ち合わせを十分に行う必要性を示している。

### 懇親会

懇親会には受講生は21名参加で少なかったが、講師も4名参加し、参加者からは有意義であったという反応が多かった。全員で自己紹介を行い、和気あいあいの雰囲気であった。懇親会の内容が解らずに遠慮した人もいたようで、次回は事前に趣旨や内容をお知らせするようにしたい。

### 気象庁見学

気象庁施設見学は4班に分かれて約80名の参加があった。

### 学会加入申込

開催中の日本気象学会への加入申込者は、14名であった。

### 今回新たに行ったこと

- ①名札を受講者(白)、講師(緑)、世話人(ピンク)に色分けして付けてもらった。これは懇親会の時や受付業務に役にたった。  
 ②受付の際に、インフォメーションを渡した。これには講義日程、食堂やトイレ、喫煙場所の案内、書店の案内、諸注意などを盛り込んだ。  
 ③参加受け付け事務から、受講証書、名札への氏名の印刷まですべてパソコンで一括処理した。

### その他の反省点

- ①記録的な猛暑と、多人数が講堂に入ったため、1日の終わりころには空調は効かなくなった。夕方の懇親会場の食堂でも空調はほとんど効かず、かなり暑

さに苦しめられた。

②申込受け付け事務を行った学会事務室では、電話での申込が殺到して、対応に追われた。参加者は当初予定した人数（70名程度）をかなり上回り、講堂の収容人数ぎりぎりの盛況であった。この人数では、もし講堂が使用できない事態が発生して他の部屋を

使わざるを得ない場合は、とても入り切れない。次回からは、あらかじめ定めた募集人数の枠を守るために、例えば申込者の中から抽選で参加者を選定して、その後に受講料を徴収するなどの工夫をする必要がある。

（教育と普及委員会）

---

### 日本気象学会寄付者御芳名

1994年11月、下記の会員から寄付がありましたので、お礼を兼ねて報告申し上げます。

記

村上多喜雄

---